

「国の研究開発評価に関する大綱的指針」に基づく各府省の対応状況等

資料 1 - 1

< 各省からの情報に基づき内閣府で整理：平成14年3月 >

	内閣府	文部科学省	経済産業省	総務省	厚生労働省	農林水産省	環境省
(1)指針名称	国の研究開発評価に関する大綱的指針	文部科学省における研究及び開発に関する評価指針	経済産業省技術評価指針	総務省情報通信研究評価実施指針	厚生科学研究に係る評価の実施方法に関する指針	農林水産省における研究・技術開発の政策評価に関する指針	環境省研究開発評価指針
(2)策定月日等 (13年度以降の対応)	・13.11.28 内閣総理大臣決定	・14.3 原案を取りまとめ意見募集を経て策定予定	・13.5 改定 ・14.3 改定予定	・14.3 策定予定	・13.12 以降改定に向けて検討開始	・13.4 改定 ・更に見直し予定	・13.6 改定 ・14.4 改定予定
(3)指針の主要内容等 評価の公正さと透明性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>客観性の高い評価指標の活用</li> <li>評価内容を被評価者に開示</li> <li>評価結果をインターネットで広く公表</li> <li>評価者を評価するシステムの構築</li> <li>偏りなく幅広く評価者を選任</li> <li>利害関係者を評価者から排除</li> <li>外部評価、第三者評価の実施者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大綱的指針及び多様な研究開発を所管する文部科学省の役割を踏まえて策定</li> <li>(策定のポイント)</li> <li>評価の観点に応じ適切な評価者の選任</li> <li>利害関係者を排除、利害関係範囲の明確化、評価内容等の守秘の徹底</li> <li>意見交換の機会の確保</li> <li>評価結果、評価者名の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(13.5のポイント)</li> <li>第二期科学技術基本計画を受けて改定済</li> <li>(14.3のポイント)</li> <li>大綱的指針等を踏まえて評価の簡略化方策を検討</li> <li>政策評価法の施行に対応し、法律上の評価を行う範囲を整理、明確化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大綱的指針及び行政評価法双方に対応し、かつ情報通信分野の特徴を踏まえて策定</li> <li>(策定のポイント)</li> <li>客観性の高い評価指標の活用</li> <li>評価内容を被評価者に開示</li> <li>評価結果をインターネットで広く公表</li> <li>偏りなく幅広く評価者を選任</li> <li>利害関係者を評価者から排除</li> <li>外部評価、第三者評価の実施者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大綱的指針に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(13.4のポイント)</li> <li>評価者と被評価者間での意見交換の実施</li> <li>評価結果及びその理由を開示</li> <li>評価結果をインターネットで広く公表</li> <li>追跡評価の一環でフォローアップを実施</li> <li>評価者は、外部専門家、有識者</li> <li>利害関係者排除(見直し予定)</li> <li>競争的資金、I7オト、短期又は少額の課題への対応等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(13.6のポイント)</li> <li>評価内容等の被評価者への開示</li> <li>利害関係者を評価者から排除</li> <li>評価者に評価内容等の守秘義務を徹底</li> <li>(14.4のポイント)</li> <li>年齢、所属機関、性別等について配慮して評価者を専任</li> </ul>
評価結果の資源への反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>優れた評価を受けた課題への対応</li> <li>予算、人材等の資源配分への反映</li> <li>機関評価の機関長の処遇への反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優れた研究開発は切れ目なく継続できるよう対応</li> <li>予算、人材等の資源配分等へ反映</li> <li>課題評価結果等の施策評価への活用</li> <li>資源配分等への反映プロセスを明記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来より優れた研究開発は切れ目なく継続できるように対応</li> <li>予算、人材等の資源配分等へ反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優れた研究開発は切れ目なく継続できるよう対応</li> <li>予算、人材等の資源配分等へ反映</li> <li>課題評価結果等を施策、機関、研究者業績の各評価対象において活用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>(13.4のポイント)</li> <li>研究終了前に評価し優れた課題は切れ目なく研究を継続</li> <li>評価結果は、予算等の配分に反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(13.6のポイント)</li> <li>評価結果を継続拡大縮小中止等に反映</li> <li>(14.4のポイント)</li> <li>優れた課題は切れ目なく研究を継続</li> </ul>
評価の対象 (従来は研究開発課題と研究機関機関)	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発施策と研究者等の業績を追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業や、機関に係る評価指針等も順次改訂</li> <li>研究者の業績評価、研究開発施策の評価等を導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発プログラム等の評価を研究開発施策として整理、従来より分野別評価、研究開発制度評価及び研究開発以外の研究開発関連事業(人材育成、税制等)が対象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発施策(戦略と制度)</li> <li>研究開発課題</li> <li>研究開発機関</li> <li>研究者の業績</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究者の業績評価、研究開発施策の評価等を導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(13.4のポイント)</li> <li>研究開発施策評価として研究分野別及び研究制度別評価の導入(今後の予定)</li> <li>研究者等の業績評価を実施するため、機関長が評価ルールを整備(一部では整備済)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(14.3のポイント)</li> <li>研究開発施策の評価を実施</li> <li>研究者等の業績評価を実施するため、機関長の評価ルールを整備</li> </ul>

# 「国の研究開発評価に関する大綱的指針」に基づく各府省の対応状況等

< 各省からの情報に基づき内閣府で整理：平成14年3月 >

	内閣府	国土交通省	防衛庁	警察庁	財務省		
(1)指針名称	国の研究開発評価に関する大綱的指針	国土交通省研究開発評価指針(仮称)	防衛庁研究開発評価指針	科学警察研究所研究評価実施要領	未定		
(2)策定月日等 (13年度以降の対応)	・13.11.28 内閣 総理大臣決定	・H14.4 策定予定	・H14.3 策定予定	・H14.4 を目途	・H14.6 を目途に 策定		
(3)指針の主要内容等 評価の公正さと透明 性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>客観性の高い評価指標の活用</li> <li>評価内容を被評価者に開示</li> <li>評価結果をインターネットで広く公表</li> <li>評価者を評価するシステムの構築</li> <li>偏りなく幅広く評価者を選任</li> <li>利害関係者を評価者から排除</li> <li>外部評価、第三者評価の実施者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大綱的指針等を踏まえて検討</li> </ul> (策定のポイント) <ul style="list-style-type: none"> <li>評価結果を広く公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大綱的指針等を踏まえて「防衛庁研究開発評価指針」を策定</li> </ul> (策定のポイント) <ul style="list-style-type: none"> <li>実効性(防衛力整備計画との整合性を確保)</li> <li>継続性(評価結果のフィードバックを確保)</li> <li>客観性(可能な限り外部評価を導入)</li> <li>透明性(評価結果を可能な限り公表)</li> </ul>	・検討中	・検討中		
評価結果の資源への反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>優れた評価を受けた課題への対応</li> <li>予算、人材等の資源配分への反映状況等を公表</li> <li>機関評価の機関長の処遇への反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価結果は予算配分等に反映</li> <li>優れた研究開発は切れ目なく継続できるように対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業評価結果は予算配分直接的に反映</li> <li>中長期の資源配分計画に反映</li> </ul>	・検討中	・検討中		
評価の対象 (従来は研究開発課題と研究機関機関)	・研究開発施策と研究者等の業績を追加	・研究開発施策と研究者の業績評価を導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発事業</li> <li>技術分野別取り組み状況</li> <li>研究開発機関</li> <li>研究開発制度</li> </ul>	・検討中	・検討中		